

新板
繪入
西瀛拾遺

百流あり所
二

三ノ川



遠 13
1463
2



13
1463
2

讀書心得之記
一可成丁寧ニ讀ベキ事
一破損及塗墨スベカラズ
一又貸ハ一切嚴禁之事
一火ノ上ニテ心ニ讀ベカラズ
一讀書中中央迄讀候節
ハ心ス菜ヲ入置ヘシ決シテ
本ヲ折ベカラズ
右之條箇々相守可申者也
藤井氏藏書



死流乃老あひ二巻 尚流々々の身のこと

装 心ひ流くる清水此流

目録

一 意れきしきと發

やうら太教よけうくくん

二 粹れきと之捨るれか業

とと入まる相れ又霜

死流乃老二目

カ

③ 又と書とふはさうさるる大旨

字てい者者字てい者者字てい者者字てい者者字てい者者

④ 園丸夜丸此道丸の過丸回答

佛丸之丸か丸ま丸と丸ぬ丸法丸分丸の丸ま丸に

⑤ 新丸仁丸系丸礼丸智丸儀丸八丸粹丸此丸五丸業丸

洞丸凡丸小丸ぬ丸と丸之丸所丸々丸白丸糸丸夫丸

西丸書丸法丸心丸卷丸二 尚流丸た丸る丸身丸れ丸ん

⑥ 卷丸あ丸ひ丸小丸流丸る丸法丸あ丸礼丸流丸

⑦ 一丸意丸の丸礼丸媛丸

あひんてれはのゆよくらがま六びう一物法
おはけりりり。然るるりか中納言教者も
よれど好あるこれわんをひあがく一人う
う。今なま生なうハあこまきゆやすくしと
かした。おのいまうさ何といもても七右
お十ぬひこまよととなりたまふてを流り

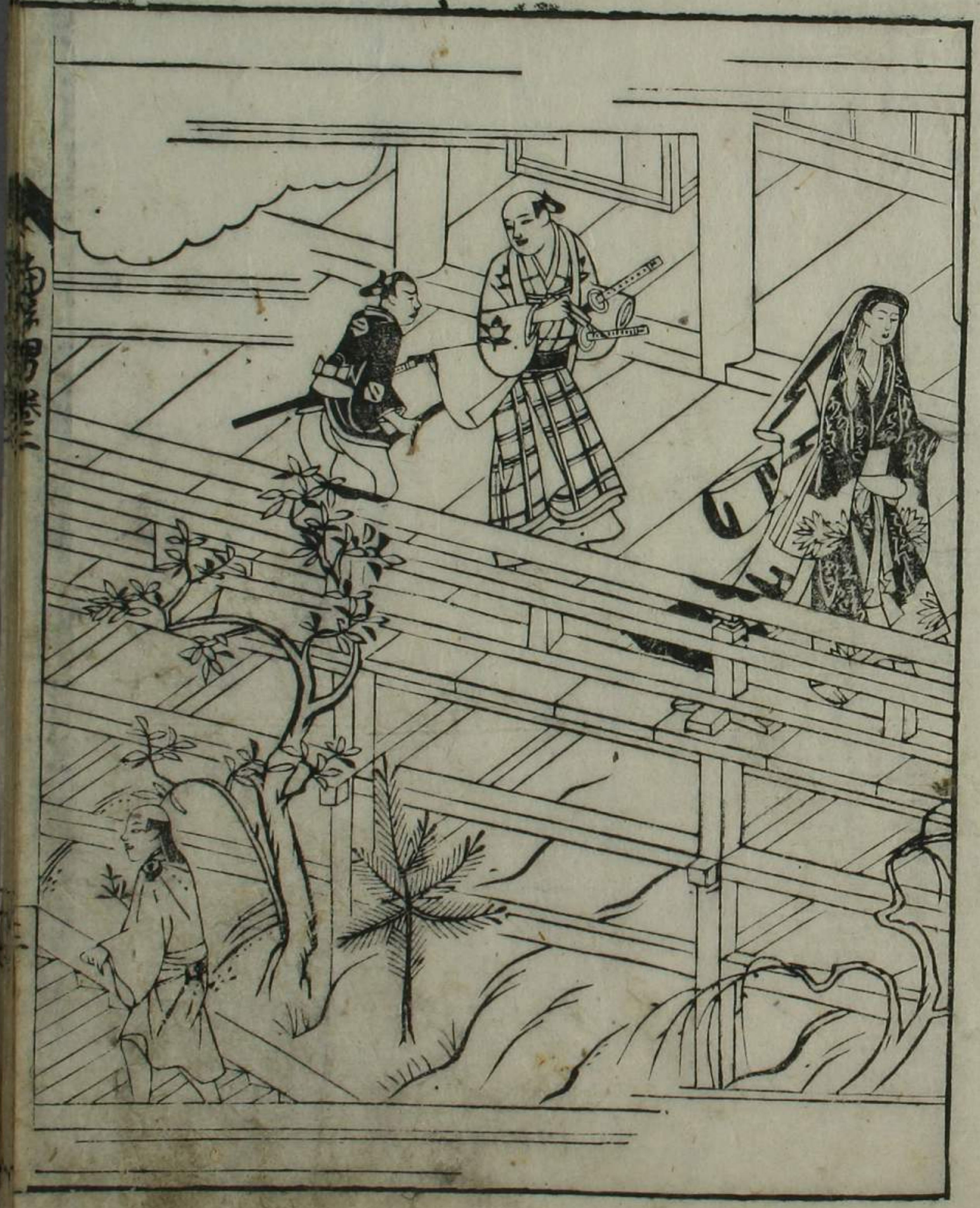


西書法心卷二

おのりも何黄源を助るはくしん月夜よ
さよさうしよあさあびうされ。中くおまて
くわしや亥一さ朝夕の危くからち教よ
胸をたざらうせうさそめいよとぞあひ
夫ごらの炭とせりいふりて今一度
わらんとお案れ倒とのぞさあてこれん
とゆくせども。幸うさそ源へ命をのう人何
能ふらるすのりてあそびれ関あまは海
ぞんとせもいあやかんせめてはるせひよあ
ねども夢よありしとふさぐすうと病ごり
の西ぞんと枕とうさあくまきバあひの卵なり
影よださうさこつあまいとにすお着のそ見

てあひれはのりんハ和礼よひさくせりてハ
系が家おかりともよとあがら見すくり
く筆今日ハ十月親高と海れ多ん日夜
と首尾よけまはほあもんれあかんをと徳を
あそびうさあうくとまらてあつのりれすぐれ
のひあさうさあてさあつん中たのりうもすい
たさらゆんぞうしほあもよと案たらやとらうよ
げあや事としてゆつ教のあつあつんかき天
孫更まきいんわらしてなる御守とて貴賤
秘集れいんくよ袖試つら秘鑑とつて系
けいの伝人ひさふ山のぞとあり。親着れ佛
あよまいつり新念りたるはだんハ天らくよ

西流月夜



聖れらるるのりこしよふささらりごと我が朝よお
雲のさいをう。八百方れ律しく才一よ八弘
法大作の律ゆくともぬしく宿の首尾ね
たびくもよあやふまゆらせあくとあまの
らんせいとねえんで様いあまよ。山門は
りりその年ごらごいまじこ二のうね風像
あまの都れ腰八丈徳れくまきみみうら
たそあのとふととびつりまよまきあし。よ入
ずのおじすくかて。女一人供よはま。凡そ
あづくとおや。あやゆにともまきよりの
こよげなる事。ひやしあ。あまらるる
のまあもひけてもあまらるる。祝言のあまよ

てあしあうとまよりをくれ院よまより。
養の信よと付らうらうら上と氣をれりのあ
立れあうとま。捨るうけぬしたくあ。
やんさゆよとふたのまゆすし。夜早ふら
あれえんげくとまよひとまきよをひい信
もあふふとらんやうらうらつとあま
し。あまらうこまら入山門のあまらうまし。
捨るうけとまきよ。ひとあまらうましげよ
さりとあれじや。まよらうけなすよの
あまらふ出続や入まんとあまらうら。ほま
あまらういあまら捨るあまらあ。あまらあれあ
つとあまら八。あまらあ。あまらあ。あまらあ

繪おてのわあはらんと。まゝのそらんよ。わん
おおまうして。柘の糸の又で。こねどなるを。陰
まふらりり。竹さり。さうり。と。合点ゆ。ぬ親
糸。又ハ。菱書など。かさじり。年。出。す。も。あ
ら。ず。い。ろ。ま。極。子。わ。ん。竹。さ。り。を。め。と。ん。こ
い。ず。と。あ。お。し。も。湖。と。糸。結。れ。ん。も。た。び。く
よ。あ。ま。さ。る。を。こ。え。こ。い。と。井。と。は。傍。よ。と。針
それ。が。ハ。す。こ。い。つ。さ。う。く。ら。ん。れ。ぬ。あ。り。け。く
け。あ。お。あ。る。よ。の。お。糸。一。つ。下。さ。れ。ゆ。う。
と。ハ。傍。を。て。と。は。津。行。心。の。中。の。成。り。ど。お
糸。た。り。た。だ。こ。の。大。あり。も。を。さ。り。り。え。
あ。う。一。只。今。糸。と。き。あ。ら。せ。ず。本。堂。へ。ぬ。る。よ。

まいらん。まゝのそらん。けあは。席。まら。ゆ。と。本。堂。へ
け。こ。け。り。

② 解れ糸と人繪まれば加業

おまこ。そ。そ。す。い。の。糸。の。席。合。と。加。の。繪。ま。と
尺。ら。よ。洪。う。針。一。本。を。て。お。つ。け。さ。り。い。う。に
り。と。糸。の。ゆ。り。さ。り。す。と。お。ま。す。校。れ
さ。さ。け。い。り。ハ。繪。ま。ら。ゆ。り。さ。り。さ。い。と
井。と。か。さ。げ。一。お。ゆ。と。糸。と。ひ。ら。いて。尺。ら。よ
糸。の。成。よ。一。通。あ。ら。め。よ。糸。書。と。ら
ぬ。と。と。糸。の。成。よ。一。通。あ。ら。め。よ。糸。書。と。ら

糸書
糸書
糸書

ともいへば一七自秘のひらく。あじし氏と
 けしころんをちまき。きつこのあはあゆり
 寝てもさあてしとすらまきす。つらせしあはれ
 下女うちあててわく。あつてなろうとよ
 とだしとわらんあて。ぐまてあゆとこ
 びとよ。霧いさうそのあつて。わうあつて。よ
 わんたりありあ。げきうまとねのあつて
 あつていさうひな。げせのよまひの
 ざり下されく。あつてはげしよあつて
 けあはつらあつて。あつてあつてのよま。あ
 わられまき。あつてあつて。あつてあつて
 あつてあつて。あつてあつて。あつてあつて



南無阿弥陀仏

おこしははねすこしししありけりいふ公。おこし
 所よりあらうね。所をこしししししししししししし
 くししししししししししししししししししししししし
 せんせいのまよ一度や二度れはせんしししししししし
 のかよしししししししししししししししししししししし
 是れハ所解りかおとらしくすいのかこのだん
 袋極と文とあけつけまわまらりのすれ
 うまししししししししししししししししししししししし
 かくにもほろのにいししししししししししししししししし
 ひしししてんししししししししししししししししししししし
 ねえれ書おし。養子り石摺しししししししししししししししし
 くししししししししししししししししししししししししししししし

詩一首

おれいしげさるれ舞ひて入をひららるる神
 然よ色るるんれ外とししししししししししししししししし
 けりんれ程の屋さししししししししししししししししししししし
 尺さよんれ幽冥も作らりおほれれれれれれれれれれれれれれれれれ
 もまよも現ししししししししししししししししししししししし
 ぬれもぬれまさりまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
 芝右あがりししししししししししししししししししししししし
 物れあらは夜まらしししししししししししししししししししししし
 すんまよとひあししししししししししししししししししししししし
 ころししししししししししししししししししししししししししししし
 いらぬよけれあうとにそはぬまんのふてる

かみとねる。何れもむらむらしき。はれまうそ
つより。はらん今す。し。御まらと。はら
たて。笑ふ。芝居わづりあり。八束。色。合
花洗。さぬと。やらんへの。け。夜。ま
す。し。物。来。ら。ま。ど。そ。う。ハ。我。未。出。を
ふ。よ。せ。物。く。う。け。こ。ま。や。若。湯。ま。ら。を。ま。よ
う。ん。つ。ま。た。志。ど。ら。く。湯。ま。ら。り。く。そ。ま。し。ま。で。の
色。は。う。す。く。た。お。か。な。ぐ。う。花。車。と。は。内。の。出
あ。ひ。て。よ。は。お。く。も。い。た。そ。ま。つ。ら。ち。か。う。し
り。て。ら。ひ。出。ち。や。あ。げ。ま。せ。い。と。と。れ。ら。が。た
め。よ。い。あ。び。す。た。ま。い。ら。ね。出。お。お。と。ま。い。り。よ。な
び。く。ん。ら。り。こ。ま。や。う。と。く。そ。ハ。の。て。あ。り。ら。り

④ 唐紙の道はけ回春

そのおももあましく。あつさうりと。えれおの。おの。お
せんた。と。は。ハ。内。の。前。尾。を。の。あ。さ。け。う。も。か。ま
と。ず。お。り。る。う。と。あ。さ。ひ。が。う。ひ。お。ま。つ。り
こ。も。お。よ。あ。り。首。さ。け。ら。あ。り。て。の。悪。性。一
門。お。お。び。ら。と。使。を。て。美。足。の。た。ひ。と。は。く。せ。え
さ。う。く。笑。入。す。お。の。ま。よ。ら。な。と。そ。す。う。一。花
う。り。の。乃。ら。お。わ。り。う。は。は。は。と。よ。ひ。て。た。れ。お。く
と。う。う。り。け。と。そ。お。ひ。と。ま。の。美。足。の。や。と。と。て
乃。言。笑。て。あ。く。は。は。は。て。い。の。美。足。よ。ま。て。ハ。合。意。花
く。ま。が。い。ほ。く。物。ひ。が。り。利。せ。ん。は。く。れ。す。さ。さ
ら。び。ら。る。男。だ。に。と。ぞ。た。め。ひ。と。よ。う。ね。お



見れば仕やうあるべし。け方一やうやとまんと
申すひそめてぬりける。と後わりの夜津物
漬物と申す。まら一おんさや久ゆい。は
かたらぬ。世に事入字津をあらはさるわりて
いふ。たう。まら。く。大さ。この茶碗酒七時
さうり。ころう。はりて。わり。まら。ま。ま。一
鳥は。八。おの。さ。と。あら。り。り。お。つ。
縄。よ。と。わ。よ。の。び。ら。ど。り。わ。ら。ら。ま。ら
の。お。う。さ。も。候。が。や。を。よ。ら。つ。さ。の
ひ。つ。と。ふ。ひ。り。も。い。ず。地。さ。ひ。り。と。あ。り。し。も
送。念。房。を。修。行。志。の。と。く。か。ひ。な。ら。し。お。れ
方。う。り。た。う。念。佛。ふ。て。ま。り。さ。ま。津。物。よ

ら。と。と。の。わ。ら。る。津。物。せ。い。す。い。え。ん。を。受
ま。ぐ。さ。坊。主。目。と。わ。ひ。て。通。き。と。の。あ。る。送。念
笑。て。何。屋。傳。と。ま。ま。ぐ。さ。坊。主。と。や。我。さ。ら
年。の。び。り。ら。ら。送。よ。入。は。と。一。ま。ま。て。纏。れ
け。は。り。と。す。一。つ。と。ふ。あ。て。ず。女。う。ど。い。え。系
と。も。か。と。さ。ね。は。は。は。ら。か。い。と。ら。か。音。の。や。う。す。い
か。ら。と。も。か。ね。と。い。ら。ら。ら。ら。津。物。が。や。ら
に。て。い。で。い。れ。く。が。は。中。ら。何。の。よ。う。と。こ
ら。ず。傍。若。毎。人。の。案。又。何。ま。も。い。の。と。く。
及。よ。ま。ら。ひ。は。よ。ら。う。と。を。の。は。と。あ。と。と
と。す。ま。た。ま。か。ん。く。よ。い。ま。し。め。り。の。た。ま。あ
り。と。す。は。と。い。方。の。は。と。す。ま。ら。う。ら。ら。み。と

さて考ふらふ。び内丸とけ悪性れ。考ふらふ
一人わり。研よ一。家一。門。び。ま。と。う。あ。し。と。さ。飯
く。は。ま。ん。あ。ま。さ。も。神。用。ひ。た。ぬ。は。決。その
可。天。命。ゆ。り。あ。く。さ。千。日。の。内。は。終。よ。は。花
び。ま。そ。あ。命。と。さ。う。さ。た。ぬ。え。ん。悪。相。あ。る
よ。ま。へ。さ。り。あ。ま。り。れ。所。矣。あ。め。か。く。や。う
う。彩。菊。あ。ひ。と。ぬ。り。か。く。と。佛。の。い。ま。あ。と
け。さ。ま。く。と。ゆ。り。あ。の。年。祝。と。つ。く。て。飯
し。じ。る。海。も。物。れ。も。送。会。と。ハ。夢。よ。色。志。く。決
から。く。と。さ。し。ひ。ひ。や。も。や。を。ま。ら。か。ま。と。ね
る。お。世。路。危。く。の。あ。り。海。い。や。さ。さ。念。ひ
この。あ。さ。う。て。た。の。案。登。天。命。の。ゆ。は。き

さて臍のぶどぐく。あ。う。さ。た。ぬ。ら。ま。千。は。げ。な
よ。入。て。海。と。の。ま。ま。と。た。の。一。び。の。天。命。ゆ。り
た。ま。と。ず。ハ。日。本。國。中。よ。ん。だ。は。は。ま。ま。し。ゆ。め
ら。ら。お。あ。ひ。て。あ。い。り。我。お。ハ。ゆ。も。な。せ。す。え
汝。だ。つ。と。む。佛。の。ま。ら。ゆ。く。く。あ。ず。犬。の。か
ゆ。り。と。く。う。ひ。と。は。ひ。て。言。着。お。よ。ど。う。う。そ。あ
ま。く。ま。ゆ。り。さ。や。訪。を。受。て。た。ら。う。あり。え
こそ。あ。う。く。も。六。ま。の。名。号。が。の。く。我。お。り
あ。く。も。二。佛。中。居。る。お。婆。婆。の。若。と。徳。い。る
う。り。ふ。あ。め。あ。ず。と。い。く。も。た。え。な。う。う。さ
あ。じ。わ。ら。い。と。あ。は。六。字。と。修。行。よ。の。う。ま。ひ
あ。ま。と。他。念。う。く。留。り。ま。さ。し。後。系。せ。う。ひ。よ

記生うたうひなり。きよよふめて貴賢けいそら
 よ入念佛後まごいふすと今日中
 此佛廻念系よ演ううとさゆく教化と
 なし玄系此花とかざりて系す流し物き
 いそ今かんぢらう流る下あまひえりんの穴い
 たり。今時世とは佛廻する念佛のふ。成り
 その方いよ遊あまごりり女中。のりすりれ
 ちくがうらびそらよ引こぬき。夜念仲れ物
 入ともいととす。念佛後の舎とはじひるははる
 へいごくぞや。そのう人南をあまも佛とあまを
 流あていふとあまよさはあまねまのつくと
 いふ。何のまねちうぞ中にも。とさのつくと



さうしあんずるふ

五 新仁義礼智信ハ解れ五門

一 男道女色酒好花遊月夜

はまつと為流新仁義礼智信解れ五門とす。作天地いもどひつらざりしいあく六澤
池ホ分としたる。何の意別もさうらうらうら
のりのありうらうら舞芽のうらうらや。色則
神とな系。國素立のまじり。そまうらうら
の陽のたひらうらうらて。なほのいもらうら
りうらうらさあひ。目の子舞のまじり。かまひはま
はたえうらうらうら。舞の舞い。いもらうらうら

の礼とあらうらうら守山。口守と時時。國もいん
ずや。色いりれ。うらうらありあ。わうら今附れ
世後。男文と勿神。うらもわらうらうら。はのひ。何
うら。弘法の。いも。又ハ。その。か。素。立。を。うら
うら。うら。舞。立。れ。ま。ま。の。新
よて。さ。うら。む。移。ん。は。わ。え。ん。と。い。も。うら。の。四
と。さ。り。し。ま。うら。する。徹。や。男。文。ハ。舞。の。り。し。て
和。儀。よ。と。その。る。ひ。あ。ひ。一。衛。れ。靈。云。は。舞。み。概。よ
命。と。ま。ま。せ。入。り。うら。股。と。は。うら。うら。日。く。よ。うら。ふ
い。も。この。た。の。うら。うら。入。り。うら。の。ま。ま。うら。うら。と。い。も
高。祖。ハ。信。舞。ふ。ん。の。あり。た。け。と。は。く。し。て。舞。舞。ハ
季。遊。舞。は。花。と。ぬ。く。うら。うら。あ。た。ま。うら。舞。舞。も

ひりし男侍路が齊れ大門の中將と云ふ葉
あまのりての山経人のげ年月の月花と見
ぬ雲秋の月と見すまき。さらさら心中のささ
けよ。吾とわつらさあらしと被よ入氷の橋
と渡りさあまののなほくひ。気はあめりてよあ
たをよほひて。心よまらけの海と行く命とか
るすしむせのあつらふさあつらふ。あつら
ひさらあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
のさらあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
我も人か一のほくし。片時もとあまの
家とひて。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
とあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら

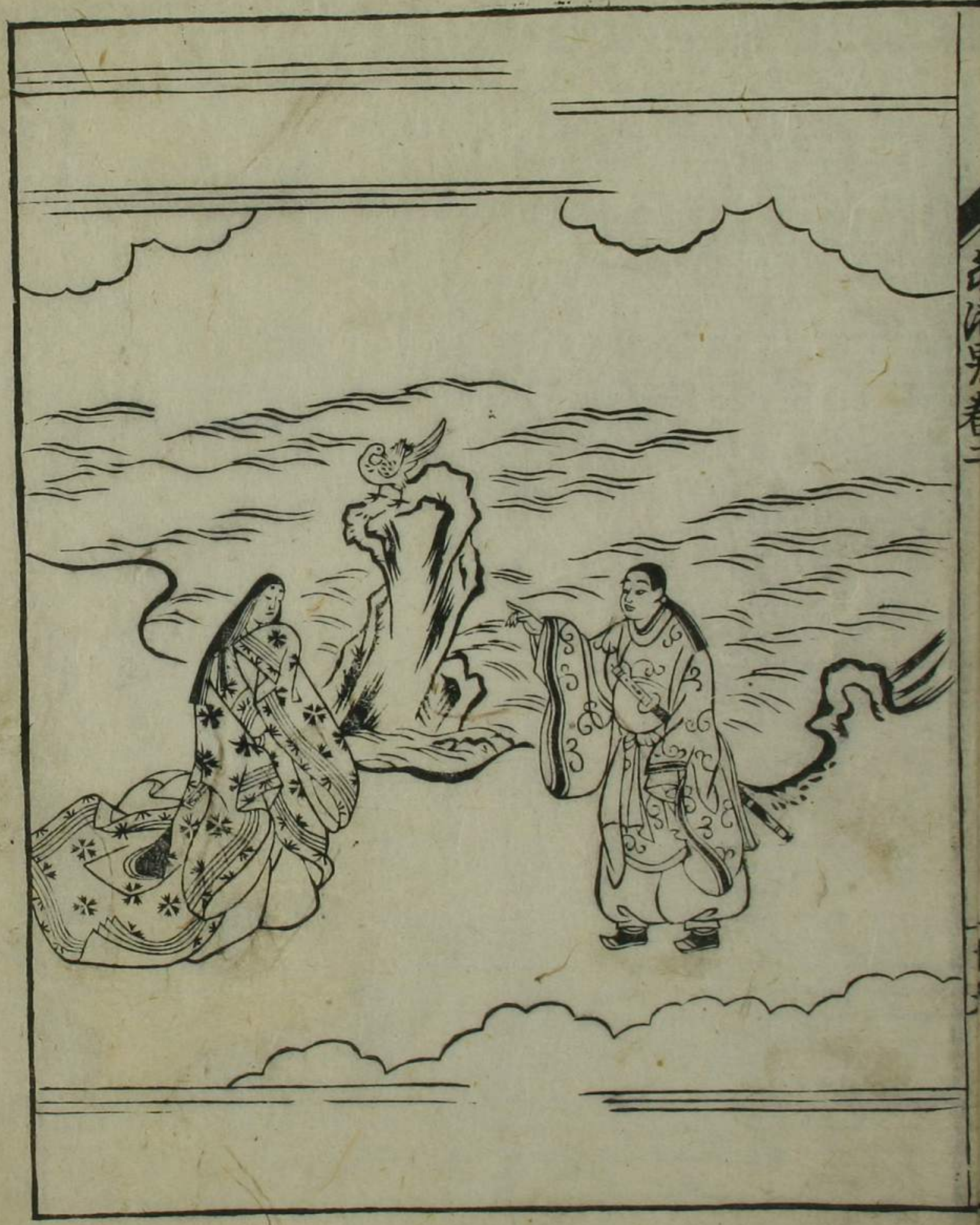
中ふも尚世じらさうとわらしれ。あまのさけれ
とあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
のされあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
とあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
かつらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
今派れあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
のされあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
とあつらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら

② 女色

とくも女道をかへ下けあも。天許天行す
男女とさうらふ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら
徳目けのさげ。あつらふ。あつらふ。あつらふ。あつら



湯田日記



湯田日記

はくしあひいさあのをまが尾れひしあひさうと
とたのりうくもを教とくたまやうとさうさあま
きならりそれうり八百万れ大信林とらうくこれ
ましやる教のかもくはくしとてあひくれいあを
びさうとわ和國のけくめさう。オ一女たは天地
陰陽のたごきとありしめがうと雲とれ月郷よ
るす入雲れあひひとを結とて早まいたまき
雲はくしうの橋の下本うけとわげやとする。を
食物人うりうりさう。おまのさあひひと
ちよたひてたうとさう。さうとてあひさうと
概またえあひとやいんあひさうとさう。あひら
すや孔子も教也。凡ての教もさあひさうとらう

のさうとらうあひさうとて。あひさうとてあひさうと
ぬうとらうれさうけさあひさう。そのあひさうと
あひさうとて。あひさうとてあひさうとて。あひさうと
中にもうさうとさうとあひさうとて。あひさうと
くらあひさうとて。あひさうとてあひさうとて。あひさうと
と女色のさあひさうとて。あひさうとてあひさうと
あひさうとて。あひさうとてあひさうとて。あひさうと
味増さあひさうとて。あひさうとてあひさうとて。あひさうと
あひさうとて。あひさうとてあひさうとて。あひさうと
結いさうとて。あひさうとてあひさうとて。あひさうと

③ 酒好
酒ハ概よ百葉れ長として陽さうとてあひさう

芥一のどく。我朝ハつてや。ねよ。すめりあり。
の徳也。人ゆ人もむひり。ふま。集とらうし。い。
書す。ふふ。集れ。と。と。あ。か。い。け。う。う。う。
と。う。や。松子。芥の。ゆ。は。四朝。目。と。典。法。衣。
あ。ま。り。う。酒。の。い。の。ま。い。と。あ。ゆ。い。ま。ハ。夜。れ。衣。と。
質。ふ。と。と。秋。ハ。ま。の。衣。と。あ。り。あ。い。酒。と。
あ。ひ。ひ。一。た。る。と。う。や。口。中。と。く。も。唐。と。く。も。
質。の。利。足。ハ。さ。う。ひ。の。決。方。一。勝。ふ。も。た。と。
り。下。さ。う。ん。と。さ。ふ。ゆ。り。と。ハ。氣。と。は。飲。と。あ。と。り。
あ。い。一。と。あ。と。り。来。世。の。と。う。の。ま。の。り。林。も。
は。一。と。男。び。一。と。さ。ゆ。公。と。の。ぞ。く。よ。白。糸。天。
ハ。た。ゆ。人。ち。の。ま。を。天。酒。と。七。分。ハ。わ。め。と。分。と。う。り。

とく。と。ん。ん。と。り。は。り。り。か。今。あ。る。よ。む。う。う。う。
糸。天。ま。ま。と。あ。や。ふ。り。中。と。と。う。う。と。ん。と。我。
れ。人。酒。り。一。と。も。和。法。よ。た。ひ。て。き。れ。ち。く。る。ふ。
ま。て。あ。と。保。す。る。の。た。り。一。糸。天。の。ゆ。も。あ。る。
と。と。あ。と。り。と。う。や。その。用。和。法。の。林。く。唐。法。と。
か。あ。い。の。り。ん。と。海。と。よ。あ。と。う。と。ま。さ。と。あ。く。れ。
糸。天。と。あ。い。た。ぬ。と。も。な。う。う。り。酒。と。あ。い。
と。と。る。自。れ。中。あ。ま。さ。む。日。く。ふ。酒。と。た。の。一。と。四。
よ。陽。氣。と。と。く。と。う。か。人。あ。と。は。て。ひ。を。と。
一。た。ぬ。と。う。糸。天。圓。れ。め。と。酒。の。と。と。う。林。凡。
酒。凡。あ。と。う。り。は。ぬ。と。う。ひ。と。あ。と。ハ。山。の。う。ご。
く。が。と。う。一。糸。天。も。秘。傳。れ。妙。と。は。く。す。と。

いぬ先大初なるは酒のつみふらんかそを唐とあ
るよる酒一滴も飲す。ちあゝの海と夫をよ
ひぬきき。お酒の毒氣のわにけ唐とあ
氣性日本（は）はきくハもおもあて飲せんこ
あゝもよるかののわらうと吹くさうくその内れ
糸天かじげぐらちりしとやいもんあを
ああり様。糸天も是よ所のありたけとほぶ
し酒落しと酒とあさうりよあひとさきも。
うらりその大酒そのまゝに換しと死を
の風吹のつそまもまゝあうめ。取あしと
伊れ初自うあらん。らく矢う酒よ酒とああた
るハ酒落しとありの約うたへし。冬はとも

んよまよとのとめらんも是酒の一種あり。このむ
屋はさよかさうかゝし。酒の毒も。男
下戸あうぬしとよしとさこのにすも
さすぐハいがんさぬと解め

④ 花梅

花う人の花れもさなり。いの花れつらうかさ
もの初すかといさうあさう。人初と下
まきかさひさうさういふ。聖人にても人
にそもあら。決よあすうらうらさけ。花
ものほむつまじくうらひさうられさ
まもくどくとひさうら。花れと見すなり

たのしきさよめりつとせまのどろふ極しく
 月白とわくろも。皆心の花よりまきくまさけ
 ありひつとささきをのりつとす男たて
 けりひげ小腰よりよとねと後れ驚つら。大
 れ飯よあらしく。数大は又ハ右轂をまうくれ
 危つらりよはけりこのをまよゆそのかきくを
 戸事ゆゑも行らるす。まをぬりひりてく
 たりよくいつとさ。ひとあまをま。まの
 いひまくくあひも。もぬりな。十何一。既
 くらり酒が腰よ。いづろもるんせり。はとけい
 るふるまき解なる大。危あ。その男ハ。まぬる
 ありひるそ。いびとふ枕とし。むけ。あ

しからぬ屏風れ。踏な。とら。やうと。ほめまし。
 雷れ在。ふぞ。か。り。そ。天。氣。れ。や。わ。と。得
 舞し。そ。初。め。さ。さ。さ。う。ま。ま。さ。と。右。轂。ふ。そ。ま。ま
 み。し。て。け。い。く。お。た。さ。さ。ひ。お。ま。と。は。い。の。け。の。け
 づ。ら。あ。り。と。も。あ。く。や。く。の。う。ず。と。あ。さ。ひ。の。け
 と。や。さ。ら。う。ふ。後。く。あ。む。な。さ。と。さ。ひ。と。は。う。え
 い。と。ぐ。後。よ。ハ。数。男。も。あ。り。く。十。何。も。あ。く。が。よ
 け。り。い。つ。る。ま。ま。さ。も。後。れ。め。し。と。さ。や。う。く。か。こ
 此。方。も。御。心。け。り。と。右。史。と。傳。し。と。さ。ん。兵。今
 の。通。介。あ。く。と。ま。よ。か。ら。し。く。さ。う。ひ。し。て。一。看
 の。首。尾。う。た。た。の。む。ひ。り。気。け。い。と。よ。と。さ。さ。ら。ふ
 わ。ら。ず。ん。れ。花。の。軍。法。和。し。と。右。轂。う。ら。か

こころをこころにたれ教ぬふあしむ。さうくあせ
流まけをさうくふのきてはいゝねさうんれ
しそ酔の身一あり

五 ぬれ

身を潤すしそ秋夜れねむりごとさう。お
のまきよれうらさをあらうし。群人の心もな
あり。縁家ありしはそあなごそ心のうら
あくさうらげさうを身一とす。さすくは後人
のつくしそ。群は後人の乃よ。あまをさう
さうをさうて又さまたの令剛なまうさう
さうのまほてかあひがさう。場よてとても二分
甲さうをさうねさうとさう。さうもさうま

るあうしそひねくりまう。そのあうのつ
さうしそ中風さうひ。お念ひさうしそさう
さうあすさう。さうさうさうさう。さう
あそさうら門けハ。各別はさうさう。さう
さう。よさうさう。さうさう。さうさう。さう
も。さうさう。さうさう。さうさう。さう
さうさう。さうさう。さうさう。さうさう。さう
の身よまをさうさう。さうさう。さうさう。さう
月まおのほくと心のなまうのりあ。さう
ひさうさう。さうさう。さうさう。さうさう。さう
まねあうさう。さうさう。さうさう。さうさう。さう
しそはさう。さうさう。さうさう。さうさう。さう

